

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業・国際交流拠点形成事業)

業名：こんにちは先輩！近代岡山の先人に学ぼう！

事業者名：岡山県立博物館教育普及事業実行委員会

住所：岡山県岡山市北区後楽園1番5号

TEL：086-272-1149

FAX：086-272-1150

HPアドレス：<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm>



連携事業者名：美咲町旭文化会館・高梁市歴史美術館・岡山県立高梁高等学校・犬養木堂記念館・坂野記念館・里庄町歴史民俗資料館・仁科会館・遺跡&スポーツミュージアム・岡山県立岡山操山高等学校・倉敷市立磯崎眠亀記念館

会場：岡山県立博物館

事業期間：平成22年6月4日～平成23年3月15日

1. 館の使命と本事業の関係

岡山県立博物館は、県内唯一の県立博物館として、県内博物館の中核施設としての使命と自覚を持って岡山の歴史と文化を全国に情報発信するとともに、未来を担う子どもたちに郷土の歴史と文化に理解を深めてもらう教育普及活動の推進、また県民参加と連携、関係機関・地域社会との協働の博物館運営を推進していく使命を負っている。そうした中で、本事業は、さまざまな分野で活躍した郷土岡山の生んだ近代の先人を取り上げ、その功績や生き方を知っていただくための事業で、大きな意味がある。とくに、本事業における学校教育との連携、また地域、とくに地域の文化施設や生涯学習施設と連携した取り組みは、子どもたちや多くの県民が郷土の歴史や文化に対する理解を深める上で大変大きな意義をもち、今後の指針となる試みである。

2. 企画内容

① 事業目的

わが国の近代に学問、教育、政治、文化などの分野で活躍した人々を取り上げ、その生涯や業績を紹介する岡山県立博物館の企画展「近代岡山の先人たち」に関連し、郷土資料館や記念館と連携しながら、子どもたちや多くの県民が岡山、さらに日本の文化向上に関わった人々の歩みを振り返り郷土岡山に対する理解を深めることを目的として各種の教育普及事業を実施する。

② 事業概要

ア 連携館・学校教育との連携事業

- ① 学生向けガイドブックの作成
- ② ガイドブック活用事例研究CDの作成
- ③ 小学生の展示・行事への参加

イ 地域の活性化事業

- ① 近代岡山の先人をテーマにした講演会
- ② 国産自動車第1号「山羽式蒸気自動車」がやって来る！
- ③ 吟香さんのたまごかけごはんを味わおう！
- ④ ミニ機で花ござ織り体験をしよう！
- ⑤ 先人に出会うスタンプラリー



3. 事業実績

(1) 事業の内容及び日程

ア 連携館・学校教育との連携事業

①小学生向けガイドブック「先人に学ぼうガイド」の作成

(平成22年9月～平成23年2月)

A4版32ページ、カラー

社会科で郷土や歴史を学習する小学校高学年を対象として、地域の資料館と連携して近代岡山の先人を紹介するガイドブックを作成し、県下全小中高校・図書館・公民館・県総合教育センター他に配布し、授業や講座で活用するよう広報活動も実施した。

②ガイドブック活用事例研究CDの作成(平成22年11月～平成23年2月)

学校教育の中でガイドブックを活用する意味づけ、活用事例などを県総合教育センターと作成し、県下全小学校に配布した。また、教職員の活用を促したり、初任者研修・各種研修会に利用するよう広報活動も実施した。

③小学生の展示・行事への参加(平成23年2月)

先人にゆかりのある地域(高梁市・美咲町・里庄町)の小学生を博物館に招き、学芸員が展覧会を解説しながら案内するとともに、ガイドブックを活用して先人についての理解を深める授業を行った。



イ 地域の活性化事業

①近代岡山の先人をテーマにした講演会(平成23年3月5日)

展覧会「近代岡山の先人たち」会期中に、多彩な活躍をした明治時代の実業家・ジャーナリスト岸田吟香に関する講演会を開催した。講師に上智大学名誉教授 春原昭彦氏を招き、吟香ゆかりの美咲町の方々・子どもたちにも聴講していただいた。

②国産自動車第1号「山羽式蒸気自動車」がやって来る!(平成23年2月19日)

山羽虎夫が明治37年に製作した国産自動車第1号「山羽式蒸気自動車」の模型をトヨタ博物館から搬入し、見学していただくとともに、同館の西川稔学芸員による設計や初走行などの解説を実施した。



③吟香さんのたまごかけごはんを味わおう!(平成23年3月6日)

岸田吟香が広めたといわれる「たまごかけごはん」を美咲町の食材を使い、地元の方々の協力で体験する行事を実施した。

④ミニ機で花ござ織り体験をしよう!(平成23年2月26・27日)

磯崎眠亀発明の錦莞莚が影響を与えた織込花莚(花ござ)を知り、地域の伝統工芸を体験してもらうため、ミニ機11台を搬入した。早島花ござ手織り技術保存会の指導によりオリジナルコースターを製作するスペシャルコースと花ござ織り体験のチャレンジコースを設けて2日間実施した。

⑤先人に会おうスタンプラリー(平成22年9月～平成23年2月)

近代岡山の先人のスタンプ、スタンプシート及びシートを入れるファイルを作成し、県内の連携館に設置して高校生以下が参加するスタンプラリーを実施した。

(2) 参加者の数

参加者人数 延べ 2,732 人

内 訳: ガイドブック 20,000冊、CD 1,700枚

小学生の展示・行事参加 321名

講演会 60名、自動車解説 90名、たまごかけ 142名

花ごぎ織り体験 119名、スタンプラリー 2,000名

(3) 事業により作成した印刷物等

- ・小学生向けガイドブック
「先人に学ぼうガイド」
- ・ガイドブック活用事例研究CD
- ・先人に出会うスタンプラリーシート

(4) 実施事業に関する新聞記事等



○新聞記事



毎日新聞（県内版）平成23年3月6日

産物新聞 平成23年3月10日

同様の新聞記事 岡山日日新聞 平成23年2月18・25日・3月1・4・11日
山陽新聞 平成23年2月18日・3月4日

4. 事業の成果及び今後の課題

・『先人を学ぶバスツアー』は、先人ゆかりの地の小学校児童が、展覧会見学と近代に活躍した岡山ゆかりの画家、竹久夢二について当館から徒歩で行くことのできる夢二郷土美術館の見学を行うものだった。地元ゆかりの先人についてはある程度知っている児童たちも、他の先人やその先人との関わりを知ることで深い学習ができた。



『先人に学ぼうガイド』を活用しながら見学したことも効果的であった。

・『先人に学ぼうガイド』、『活用事例 CD』は、連携館などに執筆依頼し、活用事例は、県総合教育センターの協力を得て作成した。小学校高学年以上を対象とした内容は、一般にも分かりやすく「コンパクトにまとめられていてわかりやすい。」等の感想が寄せられた。学校、公民館等での活用が期待される。

・『ミニ機で花ござ織り体験をしよう！』は、手織り織機による花ござ織り技術の保存活動を行う団体の指導で、花ござのコースターを織る体験を行った。老若男女、県内外の参加者は、岡山県産い草を2時間織りあげて自分の作品を作る喜びとともに、先人磯崎眠亀が発明した花ござ、錦莞蓆のち密さを実感した様子であった。参加者の体験の感想を綴った投稿が新聞に掲載された。

・『記念講演会』は、講師に上智大学名誉教授春原昭彦氏を迎え、「新聞・広告の先覚者 岸田吟香」を演題に行われた。岸田吟香の業績を新聞史において検証する内容は、聴講者に岸田吟香を理解する新たな視点を与えた。

・『国産自動車第1号「山羽式蒸気自動車」(模型)がやってくる！』は、トヨタ博物館学芸員西川稔氏による、山羽虎夫、山羽式蒸気自動車の講演と模型を見ながらの解説を行った。研究動向や模型製作の過程を専門の立場からわかりやすく解説され、参加者は国産自動車第1号誕生の歴史的背景に興味深く聞き入っていた。

・『吟香さんのたまごかけごはんを味わおう！』は、岸田吟香の出身地、美咲町の協力で、町産の棚田米と卵を使用した「たまごかけごはん」の試食会。「たまごかけごはんを岸田吟香さんが広めたという展示だけでなく、美咲町から試食がやってきて実際に体験できるというのがよかった。」などの感想が寄せられ、五感で体験することの大切さ再認識した。



・『先人に会おうスタンプラリー』は、連携館を見学し、設置の先人似顔絵スタンプを集めるラリー。先人を顕彰する博物館、資料館を知るきっかけに、さらに先人をより深く理解する一助になった。スタンプは事業終了後、各館で活用してもらった。

連携施設や関係市町と資料貸借に加えて事業連携ができたことは、来館者の益のみならず、当館にとっても事業実施、広報等の面で有益であった。この取り組みが一過性のものとせず、他館との連携をも考えていきたい。